

## 新人育成年間計画表

到達目標	1. 看護に必要な基本的知識・技術・態度を身に付け、安全で正確なケアを提供することができる。(看護実践) 2. 専門職業人として、生涯教育の必要性を理解し、自己研鑽をすることができる。(教育) 3. 看護における問題解決の方法として、研究に関心を持つことができる。(研究) 4. 組織の一員として、日常の業務管理が認識できる。(管理) 5. 病院の理念や目標・方針を理解し、組織人としての行動がとれる。看護者の倫理綱領に関心を持つことができる。(倫理) 6. 地域看護に必要な制度を理解する。病院や地域で使える在宅資源を理解する。(地域看護)														
月間目標	<4月>・配属部署の特徴と業務内容が理解できる ・基本的な患者の看護が指導のもとでできる ・社会人として基本的な態度が身につく ・基本的看護技術の習得ができるよう努力する ・各部署のスタッフとコミュニケーションが図れる			<6月>・頻回に行われる検査や処置について理解でき、患者への説明・介助ができる ・業務の流れを組み立てて、自ら行動できる ・看護過程の展開を通して自分の行っている看護が分かる			<8月>・受け持ち患者の看護過程の展開ができる ・検査データ・心電図の読み方が分かる ・事故を起さない為の予防策が考えられる ・休日業務が指導のもとにできる <9月> ・受け持ち看護師として自覚して受け持ち患者の看護に対してチームに協力を求めることができる			<10月～12月> ・自分の行った看護を振り返り、問題意識を持つ ・疑問や不安な点を積極的に相談し基本的な看護ができる ・優先順位を考えて行動でき ・夜勤のでのメンバーの役割が分かる			<1月～3月> ・自己の看護観を体験と結びつけ考えることができる ・患者の個性に応じた看護が自ら進んでできる ・他部門との関連を理解し、調整が指導のもとにできる ・知識や技術・態度を振り返り、達成できていない事項を明確にできる ・夜勤業務が指導のもとにできる		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
現任教育	オリエンテーション ・看護部各委員会 ・外来オリエンテーション  オムツの当て方 感染研修 接遇研修  輸液ポンプ  <技術演習> 採血・注射・内服点滴静脈注射 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">                     * 採血・注射・内服・ME機器は研修終了後病棟で指導者の指導のもと実施                 </div>	看護記録 シリンジポンプ 低圧持続吸引器 口腔ケア 食事介助  フォローアップ研修 ・報告・連絡・相談 ・輸血と輸液管理 ・麻薬と与薬について ・ハイリスク薬品	DC AED セントラルモニター  輸血・麻薬シミュレーション <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">                     * 輸血・麻薬の与薬は、研修後指導者の指導の下実施可                 </div> 経管栄養 胃管挿入 胃瘻 尿管留置カテーテル挿入 浣腸 排便 座薬挿入	看護必要度  抗がん剤について(薬剤師)  急変時の対応 救急カート薬品 物品調べ  創傷管理 回診介助(胃瘻ケア 中心静脈ケア) 抗がん剤の取り扱い <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">                     * 化学療法は、抗がん剤についての理解とシミュレーション後に指導者とともに実施可                 </div>	記録学習会  移乗 認知症	人工呼吸器				KYT	看護観	褥瘡評価(DSIGN-R)			
	★複数の患者を担当			★休日業務開始			★休日の日勤業務独り立ち ★受け持ち看護師として看護過程を展開する			★夜勤業務開始			★夜勤独り立ち		
外部研修			看護に活かすフィジカルアセスメント	救急蘇生							自己の学習課題の発見と取り組み				
配信	学研ナーシングサポート(基礎習得コース)・ナーシングメゾット(新人看護職員技術チェックコース)を病棟研修計画書にあわせて視聴する。														
指導	<ステップ1 教える指導> ・マニュアルにしたがって仕事をすすめる力を養う段階 ・運動技能を身に付ける				<ステップ2 ミスをなくす指導> ・安全・確実に仕事をすすめる力を養う段階 ・危険予知・回避できる判断力や危険防止策を身に付ける				<ステップ3 考えさせる指導> ・工夫を加えて仕事をすすめる力を養う段階 ・個別のケースに応じた看護の専門職としての判断ができ、自らの仕事に工夫が加えられる ・知的技能を身に付ける、業務内容の改善力を身に付ける						
評価	病棟研修計画書に沿って評価			○3ヶ月時の評価 * チェックリスト			○中間時の評価 * チェックリスト			○1年時の評価 * チェックリスト					
	プリセプターと月末に個人目標の1か月の振り返り(目標・課題達成度、成功・失敗から学んだこと、生活・健康面など)									3か月の振り返り		1年の振り返り			